

公共交通の よいところを 知るう!

公共交通とは、鉄道、バス、タクシーなどみんなが利用できる乗り物です。

みなさんは知っていますか？

新潟市内では、移動の約70%にクルマが利用されています。確かにクルマは便利で快適な乗り物ですが、「クルマばかりの生活」には困ったところも少なくありません。日々のおでかけ方法について、見直してみましょう。

チャレンジ！ これで紹介する「クルマばかりの生活」の困ったところは、反対に公共交通のよいところにも関連しているよ！ それぞれ関連している困ったところ・よいところを探してみよう！

右ページ①～⑤の中から番号を1つずつ探してね！ 見つけたら「答え」に番号を書いてね！

「クルマばかりの生活」は…

A 交通事故の危険性

クルマで毎年1万kmを50年間走行し続けると、300人に1人が事故で死亡し、250人に1人が死亡事故の加害者になると言われています。^{※1}

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

答え：_____

B 安くない維持費

クルマを所持していると、ガソリン代、駐車場代、税金・保険、車検などがかかります。例えば、150万円のクルマに7年間乗り、毎月ガソリン代1万円や駐車場代1万円などがかかるとすると、平均して1日あたり1,800円程度の維持費がかかりることになります。^{※2}

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

答え：_____

C 大気中にたくさんのCO₂(二酸化炭素)を排出する

クルマは、電車やバスと比べて1人を運ぶためにたくさんCO₂を排出します。新潟市は現在、人口1人あたりのCO₂排出量（運輸部門）が政令市の中でも特に多い都市のひとつとなっています。^{※3}

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

答え：_____

D クルマに頼る生活で運動不足に

クルマ利用を統けていると、自然と歩数が減ってしまうからです。「クルマばかりの生活」は運動不足の原因にもなりかねません。

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

答え：_____

E 朝夕の交通渋滞にイライラ

朝夕の時間帯は、たくさんのクルマが一斉に移動します。渋滞に巻き込まれた中で、運転から手が離せない状況におけるストレスは意外に大きいのです。

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

答え：_____

公共交通の よいところを 知るう！

目次	P1～2
	P3～4
	P5～6
	P7～8
	P9～10
	P11
	P12
	P13～14



- 1 維持費がかかるない
2 移動の消費カロリーが2倍に
3 事故の心配が少ない
4 居眠りOK、移動時間は自由時間
5 大量輸送で環境にやさしい

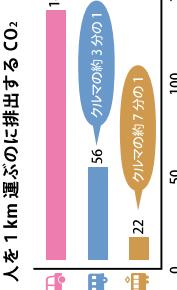
乗車の分だけ運賃を支払う電車やバス。
駐車場代や税金などの維持費はかかりません。

3 事故の心配が少ない

運転はプロにおまかせ！ 電車やバスなどの公共交通なら、事故の不安が減ります。

5 大量輸送で環境にやさしい

多くの人を運ぶ公共交通は、1人あたりのCO₂排出量がぐっと下がります。バスはクルマの約3分の1、電車なら約7分の1に！



2 移動の消費カロリーが2倍に

日々の移動をクルマから公共交通に変えることで、自ら歩数が多くなり、同じ移動距離で倍以上のカロリーを消費することができます。

- 移動に伴う消費カロリー (kcal)
公共交通: 約20分あたり144kcal
多くて200kcal
車: 約346kcal

4 居眠りOK、移動時間は自由時間

移動時間は、運転に集中しなくともいい自由時間。うたた寝や読書もできます。

D クルマに頼る生活で運動不足に

クルマ利用を統けていると、自然と歩数が減ってしまうからです。「クルマばかりの生活」は運動不足の原因にもなりかねません。

- これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

●これに対する公共交通のよいところは何番だろう？

安全でお得、健康的で環境にも優しい公共交通によいところがたくさんありますね。

では次のページから、新潟市の公共交通の乗り方や種類について学んでいこう！

お読みになった方へ 本冊子は、新潟市内の主要公共交通の乗り方をご紹介するものです。本冊子で学んだことをご活用の際にお役立ていただければ幸いです。

資料：「運輸・交通に関する調査」交渉会議レポート（2016年度版）より

※1：資料1)自動車社会計画監修者に対するコミュニケーション実験(2003)、藤井公也・西中田也・北川隆一・土木計画研究論文第20号、pp.103-108
※2：資料2)橋本昌義「日本自動車保有率の歴史(その2)」(2010年日本モーターメディア賞受賞作品)、<http://www.enews.jp/2nd_commu/pdf_file2/06.pdf>[2017-1-20]より
※3：資料3)地方公共交通の実態調査実施支援ガイド、<https://www.enews.jp/tools_3.htm>[参照2017-1-20]より